



Architect Profile

たにぐち けんじ
谷口健治さん

・連絡先 / 株式会社ゼロ・コーポレーション
京都南インター展示場

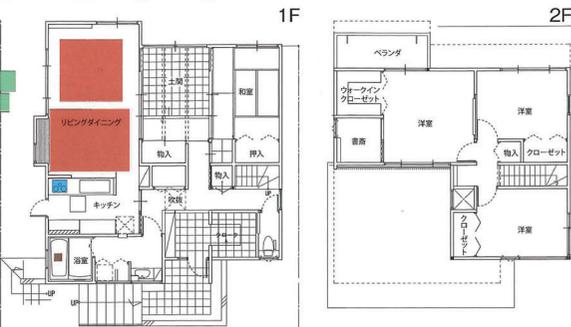
・住所 / 京都市伏見区竹田西小屋ノ内町50

・電話 / 060120-021-046

・URL / http://www.zero-corp.co.jp/

土間スペースのある家 (M邸) 総尺=1/200

■ エコウィル ■ ヌック ■ カワック ■ Siセンサーコンロ



1F
2F

土間スペースのある家 (M邸)

所在地 / 京都府京田辺市
家族構成 / 夫婦+子ども2人
敷地面積 / 194.89㎡
延床面積 / 84.47㎡

延床面積 / 131.67㎡
構造・規模 / 木造・地上2階建
設計期間 / 2011年6月~2011年11月
施工期間 / 2011年11月~2012年4月

導入ガス設備・システム

- ・ガス発電・給湯暖房システム エコウィル
- ・ガス温床暖房 ヌック
- ・ガス温水浴室暖房乾燥機 カワック
- ・Siセンサーコンロ



明るく広い土間スペースが、暮らしを温かく包み込む。

土間スペースのある家 (M邸) / 株式会社ゼロ・コーポレーション 谷口健治さん



- 1 「風通しが良くて明るい家」を実現した。M邸の明るいリビング。
- 2 和モダンをイメージした、モトーンの外觀。
- 3 リビングに面したカウンターキッチン。
- 4 玄関にはトップライトからの陽光が差し込みます。
- 5 お子さまたちも安心して遊ぶことのできる土間スペース。



屋内の安全な遊び場としての土間空間

京田辺市の住宅地に建つM邸は「和モダン」を意識した、白と黒のコントラストが印象的な住まいです。この家の特長は「何にいても1階のリビング横に大きく取られた土間スペース。これは施主さまのたのび希望で設けられたスペースで、屋内でもお子さまを元気づけ遊ばせたいという思いを実現したもの。またこの土間スペースはキッチンからも見通しが良い場所にあるので「家事をしながらでも、子どもたちの遊ぶ姿が見えるので安心です」と奥さまはおっしゃいます。

その土間スペースを囲むようにリビング・ダイニング・廊下、和室が配置され、扉をすべてオープンにすると、1階部分は30畳もの大空間に、そんな開放的なスペースは、庭に面した大きなガラスサッシや、高い位置に設置された窓を通して、燦々と太陽光が差し込む明るく心地よい空間となっています。

また、玄関の上部は吹抜けになっており、2階へと続く階段の上部に設けられたトップライトと合わせて、明るい陽光が1階まで差し込みます。2階には手摺室と、将来お一人のお子さまそれぞれの部屋となる予定の2部屋の洋室。そして主寝室の奥には、「主人の強い希望で設置された書斎があり、ご家族それぞれのプライベートを確保できるようにしています。」

家のどこにいても、風通しが良くて明るい家

この土間スペースのある家を設計したのは、株式会社ゼロ・コーポレーションで設計主任を務める谷口健治さん。谷口さんのポリシーは、「家のどこにいても、風通しが良くて明るい家」を建てようという。今回、施主のMさまの希望であった土間を、採り入れることを念頭に置いた上で、玄関から廊下、そして奥に配置された土間から庭へと、まっすぐの奥まで見通しの良いおとし、同時に風通しの良さにも配慮。さらに窓やサッシの大きさや高さの調整、吹抜けやトップライト等を設けることで、部屋うちにも上手く陽光を採り入れることができたのだとか。

「本宅は、土間の上にも天窓が欲しいというMさまのご要望があったのですが、今回は予算の関係でできず残念でした。その代わりに土間スペースに隣接する窓を通常より高く設置することで、長時間にわたって陽光の光が差し込むようにしました」と谷口さん。

またMさまは以前からお使いの家具や食器棚などをそのまま持ってきて使いたい、ということも高さを考えていただき、そこで天井や窓の高さなど、ただ家具の大きさに合わせるだけでなく、より使い勝手が良くなるようにさまざまな工夫を凝らされていると谷口さんもおっしゃいます。「プラスαを加えることも建築家としての仕事です。」

「土地の広さや予算など、限られた条件の中でベストなプランを考え、それが建築家としてのやりがいです」と谷口さんの言葉に、「この土間のある住まいは、私たちにとってベストなプランです」と微笑みながら答える奥さまの表情が、その満足度の高さを物語っていました。